

# 女川原発はいま Ⅱ 女川町 高野博

## 現地からの報告第3回 (最終回)

再稼働を始めた女川原発などで生じた使用済み核燃料は、その処分方法が未定のまま増え続け、原発は行き詰まっています。

誰一人責任を取らない国と東電。それを容認する最高裁。石破政権は「原発依存の段階的縮小」から「原発の積極的活用」と、原発政策の180度大転換を決めました。これは原発政策の崩壊の始まりです。

マスコミは報道しません。この10年間、大企業は採算が取れないとして原発事業から相次いで撤退、燃料被覆管の製造まで海外に依存する事態に。もはや原発産業は斜陽化し崩壊寸前なのです。

また、近い将来、核のゴミの地層処分場をめぐって大問題が発生することは間違いありません。過疎自治体にそれを強制的に押しつけるのでしょうか。

ドイツは福島事故後、甚大な被害をもたらす原発は、倫理上許せないと廃炉を決定しました。

私は、英国や仏の再処理工場、アメリカのユッカマウンテン、チエルノブイリ原発の廃墟を見て、いま世界がすごい勢いで原発から再生可能エネルギーに転換する姿を実感させられました。

今度こそ政治の力で、原発ゼロの社会を実現したい。池田町の皆さんとご一緒に頑張ってください。

末尾になりましたが、皆さんからの沢山の署名を受け取りました。心よりお礼申し上げます。

3回にわたり「女川原発再開後の実態と住民の皆さんの闘いの様子」について書いていただきました。核のゴミ貯蔵施設計画断念を求める運動の成功を心から願っています。

# 自衛隊への名簿提供 除外申請 3月31日締め切り

## 池田九条の会では2月25日、池田バス停前と松川駅で自衛隊への名簿提供の「除外申請受付中」のチラシをまき、「知っていますか」と、若者たちに問いかけました。

自衛隊への名簿提供の除外申請受け付けが始まっており、(3月31日締め切り)ど



れだけの人がそれを知っているのか、また、おそらく知らない人が多いだろうということとを念頭にしての宣伝でした。

想像していた以上に、除外申請どころか、「名簿提供」そのものをほとんどの人が知りませんでした。

「どう思いますか」のボードアンケートでは、なんと「中止」がダントツに多くありまして。

憲法違反、個人情報保護法違反と考える人が多いことに「中止」の声を広げねばと意を強くしました。(池田九条の会 曾根原鈴美)

# 文芸欄 今月は俳句です

蛇口より音確かなる春の宵  
はだれ野やエンドレスにて家事雑事  
烈風をものともせず猫柳

美ちこ

幸代

八十路婆



# 健康コーナー

## 手のひらを太陽にあてましよう

春風と共に日差しが強くなってきました。紫外線は皮膚内でビタミンDを作る働きをしてくれます。ビタミンDは体内でカルシウムを蓄え骨を強くします。Dは骨強化以外に健康寿命にも注目されています。理由は、免疫力強化による感染症や癌の発症リスクを減らす効果があるとの研究結果です。1日20分程度の日光浴で充分。「手のひら」を陽に当てればシミの心配もありません。散歩や野外作業時に手袋をはずして20分素手になりましょう。室内の場合、窓越しでは紫外線が入らないため窓を開け、手を出しグーパーをします。食物では「鮭・サバ缶・しらす干し・しいたけ」などがお勧めです。シイタケ以外のキノコ類も1時間ほど干すと酵素の働きでビタミンDがアップすることです。(3丁目 薄井百子)

# 石破首相 初当選議員に10万円の商品券

## 金権に無反省 首相の資格なし

石破首相が昨秋の総選挙で初当選した自民党議員15人に商品券を渡していたことが明るみに出ました。商品券の金額は、1人当たり10万円で総額150万円になります。

商品券は、3月3日夜に首相公邸でおこなわれた会食に参加した新人議員に、事前に渡された、とのこと。裏金問題をはじめ「政治とカネ」が国民の政治不信を高めているなか、石破首相に果たして首相の資格があるのか根本的に問われています。

発覚後、石破首相は「会食の土産代わりで、家族へのねぎらいなどの観点からポケットマネーで用意した。政治活動でなく、政治資金規正法にも反しない」と弁明しています。

このような開き直りが通用するはずがありません。そもそも会食は総選挙で初当選した議員を招いて首相公邸でおこなわれ、林芳正官房長官と橋慶一郎、青木一彦両官房副長官も同席しています。

会食自体が政治活動そのものであることは明白です。

与党内からも「耳を疑う」という驚きと批判の声が出ています。商品券を渡された新人議員が商品券を返し、「後ろめたさを感じた」と言っていることから問題があることはあきらかです。

今国会は、裏金問題の解明、企業・団体献金禁止など、政治から金権腐敗を一掃し、カネの力で政治をゆがめることをな

くすことが焦点になっていました。石破首相がいかに国民生活とかげ離れた金銭感覚で政治をおこなっているかを浮き彫りにしています。

日々の暮らしを懸命に生きている国民を尻目に、「150万円をポケットマネー」で出して、なんの問題も感じないという金銭感覚は、国民とまったくずれています。

カネにまつわる感覚がまひした自民党政治は変えるしかありません。力をあわせて行動していきたいと思えます。(日本共産党池田支部)

# 「ファンクラブ総会」開催

2月22日に総会を開催し、会則を作成しました。

主な活動は、毎月のニュースの発行と読者の方々の声を反映すること、情勢に応じた課題の学習会を実施すること、共産党への支援協力などです。

今年は参議院選挙があるのので、勝利のために活動することを目指します。

親睦をはかるイベントも実施したいと考えています。

# コラム 有明

先日の信毎で「女性の管理職登用鈍い県内市町村」という見出しで20年間ゼロの地域も4県だと報じていた。それを見て愕然とした▼保守王国地域に住んでいた時には長野県はとても開放的な県というイメージが強かった。住んでみると何処もおなじ。半分納得した▼いま高齢者団体の県本部の役員をしているが、ここでも男性優位の運営がまかり通っている▼北信越5県の交流会が毎年開催されているが、その運営も男性優位。沢山の男性、女性の会員がいるのを無視して、ある役職者だけが一人で仕切っている▼民主的な運営をと訴えても聞く耳を持っていない。今年やつと届いたのかと思いきやその女性は男性の単なる補助役。まあ一歩前進と思うしかない▼中央では女性の低年金問題も含めて「女性の地位向上」を大きく掲げているのに、来賓としてくる偉い人はどう思っているのか。不思議で仕方がない▼まずは身近なところから男性だけでなく、女性の意識も変わってほしいと訴え続けたい。

発行責任者	太田 勅	(62-5727)
議員連絡先	薄井 孝彦	(62-5093)
	服部 久子	(62-4357)
編集責任者	山本 久子	(61-1066)

282号

2025年3月号

日本共産党  
池田ファンクラブ・ニュース  
あした天気にな〜れ

**要求アンケート2025**  
あなたの声を届けます  
全国アンケート実施中♪

日本共産党はいま、一人ひとりの暮らしの不安やお困りごとの解消のために、全国でアンケートを実施しています。ご協力をお願いします。